

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	多様な世代の安全・安心な利用と都市公園の長寿命化												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	山形県												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもから高齢者まで多様な世代が安全・安心に利用できる施設整備を進める。</li> <li>・ 公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設整備を行うことで、ライフサイクルコストの縮減を図る。</li> <li>・ 老朽化した公園施設の整備を行い、施設の充実及び施設機能の維持を図る。</li> </ul>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,000	A	1,000	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	<b>【都市公園施設長寿命化対策支援事業】</b> 点検調査で改善が必要とされた公園施設の改築更新を推進する【0.0% 14.8%】 改善が必要とされた公園施設のうち、健全となった公園施設の割合を算出する (健全化が必要な公園施設の健全化率) = (健全化が完了した施設数) / (整備計画期間内に改築更新が必要な施設数)	H31		R5
		0%	%	15%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第三者委員会である「山形県公共事業評価監視委員会」から意見を聴取し評価を行う。	整備計画期間の翌年度
	公表の方法 ホームページによる公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化した公園施設の改築・更新により安全・安心の公園の環境づくりに寄与できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
改築・更新が必要な施設はまだ多く、更には経年劣化により新たな老朽化施設が発生することが想定される。予算は限られていることから、施設の利用者数や重要度等に応じた優先順位付けを行うなど、計画的に改築・更新を進めていく必要がある。引続き、次期整備計画においても、ライフサイクルコストを踏まえた公園施設の長寿命化を図りながら、安全で安心に利用できる公園の整備並びに適切な維持管理に取り組んでいく予定。	

